

はじめに

加西市では、平成16年に加西市環境基本条例を制定して以降、平成18年に「加西市環境基本計画」、平成29年に「第2次加西市環境基本計画」を策定し、「水と緑と人がおりなす風土記の世界を未来につなぐまち 加西」の実現を目指して様々な環境施策の推進を図ってきました。



しかし、この間、地球温暖化の進行や、それがもたらす猛暑や豪雨等の異常気象の頻発化・激甚化、海洋プラスチックごみ問題や食品ロス問題など、環境を取り巻く状況は大きく変化しています。

世界では、平成27年に世界が直面している環境や経済など喫緊の課題に取り組んでいくための世界共通の目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」や、気候変動対策に関する新たな法的枠組みである「パリ協定」が採択され、地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題に取り組む意識が高まっています。

国では、これらの動きに対応する形で、平成30年に「第五次環境基本計画」を閣議決定し、環境・経済・社会の課題が相互に密接に関連していることを踏まえ、それらの統合的向上により、地域資源を最大限活用した自立分散型社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合う「地域循環共生圏」の実現を提唱しました。また、令和2年10月の首相所信表明演説において、令和32年(2050年)までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにし、脱炭素社会の実現を目指すことが表明され、地球温暖化対策の拡充に向けた動きが加速しています。

これら多様化する環境問題や環境を取り巻く社会情勢の変化に対応していくためには、市民一人ひとりが環境にやさしいライフスタイルへの転換を進めるとともに、行政・市民・事業者が連携・協働して、環境への負荷の少ない持続可能な社会を築いていくことが、これまで以上に必要とされています。そのため、加西市では、令和2年3月に、脱炭素社会への移行に向けた取組を進めていく姿勢を表明するため、令和32年(2050年)までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

今後は、本計画に基づき、良好な環境を未来へ引き継いでいくため、様々な環境施策のさらなる推進を図ってまいりますので、皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年3月 加西市長 西村 和平